

問1 日本の縄文時代において製作された「土偶」について、その目的や背景を説明した文として最も適切なものを選びなさい。

(2025年 京都公立入試 類似)

1. 自然の力への畏敬の念を持ち、豊かな収穫やまじない、安産などを祈るための道具として作られた。
2. 大規模な古墳が造られる中で、亡くなった支配者の権力を象徴し、その死後を守るための副葬品として作られた。
3. 大陸から伝わった稲作技術が広まる中で、収穫した稲を保存するための高床倉庫の装飾として作られた。
4. 律令制度のもとで、成人男性が都へ赴いて労働の代わりに納める税の一種として、全国で均一に作られた。

問2 紀元前5世紀頃のアテネなど、古代ギリシャの都市国家で見られた政治の仕組みについて、その特徴を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)

1. 労働を奴隷に依存する社会構造のもと、市民が直接話し合いに参加する政治が行われていた。
2. 河川の治水を目的とした強力な王権のもとで、官僚による中央集権的な政治が行われていた。
3. カースト制度と呼ばれる厳しい身分制度があり、特定の身分のみが政治を独占していた。
4. 広大な領土を統治するために、各地に知事を派遣して徴税を行う仕組みが整えられていた。

問3 7世紀初めのアラビア半島において、ムハンマドが唯一神アッラーの啓示を受けたとして開き、現代でも世界中に多くの信者がいる宗教は何ですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

1. キリスト教
2. 仏教
3. イスラム教
4. ヒンドゥー教

問4 飛鳥時代から江戸幕府が成立する1603年までの日本の歩みを整理した時系列において、最も古い時期である7世紀初めのアジアおよび世界の動向を説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)

1. アラビア半島でムハンマドがイスラム教を唱え、信者を増やしていった。
2. ルターが教会の免罪符販売を批判し、ヨーロッパで宗教改革が始まった。
3. マゼランの船団が世界周航を成し遂げ、地球が丸いことが証明された。
4. 秦の始皇帝が中国を統一し、北方の遊牧民族の侵入を防ぐために万里の長城を築いた。

問5 7世紀にムハンマドが創始したイスラム教が、アラビア半島の枠を超えて北アフリカや中央アジアまで急速に拡大した背景として、宗教上の仕組みから説明できるものはどれか。 (2026年 三重公立入試 類似)

1. 唯一神アラーのもとでは、すべての信者が平等であると説いたため。
2. 厳しい身分制度を肯定し、支配階級の権限を強化したため。
3. 各地の神々をアラーの化身として認め、多神教を取り込んだため。
4. 世俗の権力とは一切関わらず、個人の心の救済のみを追求したため。

問6 中国の古代文明における道具の使用や、文字が果たした役割についての説明として、歴史的な背景を踏まえた正しい記述はどれですか。 (2019年 山形公立入試 類似)

1. 王が政治や軍事の重要な決定を行うための占いの記録に文字が使われ、祭祀の道具として青銅器が発達した。
2. 農作業を効率化するために鉄製の農具が広く普及し、土地の所有権を明確にするために文字が発明された。
3. ナイル川の氾濫を予測するために天文学が発達し、その計算結果を記録するために文字が独占的に使われた。
4. 巨大な王の墓を建設する際の労働力を管理するため、石碑にその功績とともに文字が刻まれた。

問7 紀元前1600年ごろに成立した古代中国の王朝である殷（いん）において、精巧な青銅器とともに使われていた、現在の漢字のルーツとされる文字を何といいますか。 (2016年 愛知公立入試 類似)

1. 甲骨文字
2. くさび形文字
3. 象形文字
4. ハングル

問8 古代メソポタミア文明において編纂されたハンムラビ法典の歴史的な意義について、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 岐阜公立入試 類似)

1. 法を文章化して明示することで、支配者の主観による不公平な裁判を防ぎ、多民族が混在する広大な領土を安定して統治しようとした。
2. 身分制度を完全に否定し、すべての人々が法の下で平等であることを宣言することで、市民による民主的な政治を実現しようとした。
3. ナイル川の氾濫を予測する天文学と結びつけ、農業の時期を厳格に管理することで、神の化身としての王の権威を強化しようとした。
4. カースト制度と呼ばれる厳格な身分秩序を法的に正当化し、宗教的な儀礼を遵守させることで、都市の衛生状態を保とうとした。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 自然の力への畏敬の念を持ち、豊かな収穫やまじない、安産などを祈るための道具として作られた。	縄文時代の人々は、狩猟や採集による生活を営む中で、あらゆる自然物に靈魂が宿ると考えるアニミズム的な世界観を持っていました。土偶は、そうした信仰の中で、大地の豊穡や子孫繁栄、病気やけがの治癒を祈るための呪術的な対象として用いられました。選択肢にある「古墳の副葬品」は古墳時代の埴輪などの説明であり、「律令制度の税」は飛鳥・奈良時代の「庸」などの説明にあたります。
問2	答え 1 労働を奴隷に依存する社会構造のもと、市民が直接話し合いに参加する政治が行われていた。	古代ギリシャの都市国家（ポリス）であるアテネでは、成人男性市民が民会に出席して直接政策を決定する直接民主政治が行われました。この市民による政治参加を支えていたのは、生産労働に従事していた奴隷の存在です。この仕組みは現代の民主政治の起源とされています。
問3	答え 3 イスラム教	ムハンマドはメッカの商人の出身であり、唯一神アッラーを信仰するこの宗教を創始しました。当時のアラビア半島は多神教が一般的でしたが、厳しい修行ではなく信仰による救いを説いたこの教えは急速に広まり、世界三大宗教の一つとなりました。
問4	答え 1 アラビア半島でムハンマドがイスラム教を唱え、信者を増やしていった。	小野妹子が隋へ派遣された7世紀初め、西アジアではイスラム教が成立し、急速に勢力を拡大していました。ルターによる宗教改革やマゼランの世界周航は16世紀（日本では室町時代末期から安土桃山時代）の出来事です。また、秦の始皇帝による中国統一は紀元前3世紀の出来事であり、7世紀の日本の状況とは時期が大きく異なります。
問5	答え 1 唯一神アラーのもとでは、すべての信者が平等であると説いたため。	イスラム教は唯一神アラーへの絶対的な帰依を求めると同時に、信者間の平等を強く説きました。この教えは、既存の身分制度や部族間の対立に苦しんでいた人々に受け入れられ、イスラム帝国の拡大とともに広範な地域へ普及する要因となりました。
問6	答え 1 王が政治や軍事の重要な決定を行うための占いの記録に文字が使われ、祭祀の道具として青銅器が発達した。	殷の時代、政治は占いによって神の意志を問うことで行われており、その内容を刻んだのが甲骨文字です。また、この時期に発達した青銅器は、主に神を祀る儀式（祭祀）や、王の権威を示すための器として作られました。鉄製の農具が普及するのは後の時代のことです。他の選択肢はエジプト文明などの特徴を含んでいます。
問7	答え 1 甲骨文字	殷では、亀の甲羅や牛の肩甲骨などを用いて、国の重要な行事や農作物の収穫を占っていました。その占いの結果を刻むために使われた文字が甲骨文字であり、これが長い年月をかけて進化し、現在の漢字となりました。
問8	答え 1 法を文章化して明示することで、支配者の主観による不公平な裁判を防ぎ、多民族が混在する広大な領土を安定して統治しようとした。	メソポタミアは周囲に遮るものがない開かれた地形で、多くの民族が絶えず侵入・交代する地域でした。異なる文化や習慣を持つ人々を一箇所にまとめて統治するためには、共通のルールを文章化（成文法化）し、王の権威のもとで統一的な裁判を行う必要がありました。これにより、社会の秩序を保ち、国家としてのまとまりを強化することに成功しました。他の選択肢は、ギリシャの民主政、エジプト文明、インダス文明の特徴が混ざっています。